

## ○木材利用促進に向けた木材生産事業地等の見学会を実施

9月12日（土）、木材利用促進に向けた取組みとして、「森林と木を知るツアー」と題し、地域住民の方々に木材生産現場や製材工場等の見学、木工体験等の森林や木とのふれあいを通じ、森林が伐採され製品として利用されるまでを理解していただくことにより、木材の利用促進を図ることを目的に実施しました。

公募により地元の方々10名が当署前に集合し、竣工3年目を迎える庁舎内を見学し、スギの壁板やカラマツ集成材の梁、地域材の甲地アカマツを使用した腰板のほか、署長室のペレットストーブなどを見学しました。

次に、日本一のブナの巨木を見学し、その後、立木伐採作業を見学。株式会社高橋林業の方々による、チェーンソーでの50年生のスギの伐倒作業や、プロセッサによる枝払い・造材作業を見学しました。参加者の皆さんは、初めて見る伐倒の迫力や高性能林業機械の正確な動きに感心していました。

午後からは、上北森林組合・木材加工センターを見学し、コンピュータ化された最新の製材機械とシステム化された作業仕組みに感心している様子でした。

木工品の製作体験では、今回用意した木工品のキットは対象年齢が小学生低学年であるにもかかわらず、日頃トンカチを使ったことがない一部の参加者は、悪戦苦闘しながらも楽しげに製作作業に取り組んでいました。



木造庁舎の説明をする署長



日本一のブナ  
巨木を見学



高性能林業機械を間近に見学



製材工場見学時の記念撮影